

事業所名

ハミング子ども教室

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		(法人理念) 法人に関わる全ての人々に対し、尊厳や人権を尊重し、寄り添った関わりを軸に地域に必要とされる施設作りを目指す。 (事業所理念) 子どもたち1人ひとりが自分らしく過ごせる場所であり「人が好き」と感じ自ら様々な行動ができる支援を提供する。								
支援方針		子どもたち一人ひとりの状況や環境、性格などを十分に理解し適切な支援を提供し、安心して毎日通える信頼関係を構築していく。								
営業時間		9 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	日常生活を送る上で必要な食事・身支度・排泄・着替え等の基本的な生活習慣を身につくように支援し、日常生活動作(ADL)の向上を図っている。また食事・歯みがき・お着替え等の一連の流れを意識できるように促し、自ら行えるADLのルーティーンを目指している。								
	運動・感覚	運動あそびやサーキット遊びを通して、体を動かすことの楽しさを経験し、自ら挑戦できる環境設定を提供している。また粗大運動だけではなく折り紙やお絵描き、製作物を通し、掴む、ひねる等の微細運動にもアプローチできるように支援を提供している。								
	認知・行動	適切な行動を知るために、視覚優位や聴覚優位など個々に応じたアプローチを実施している。また週に1度、子どもたちの発達状況に応じて個別のクラスに分かれ、発達状況に合った課題や製作物に取り組み、認知力の向上を図っている。								
	言語 コミュニケーション	発声、喃語、発語等、さまざまな段階の言葉に応じた適切な支援を心がけ、子どもたちが発声する楽しさやお喋りする喜びを知り、自ら言葉を発しようとする環境を大切にしている。また言葉以外でのジェスチャーや身ぶり等もコミュニケーションの大切なきっかけと捉え、人と関わる楽しさを知り、その子に応じて言葉への足掛かりとなるようにアプローチしていく場合もある。								
	人間関係 社会性	集いのお当番さんが点呼をとる時に名前を呼んでタッチをしたり、お散歩ではお友達と手を繋いで歩いたり、自然な関わりを通して人間関係の楽しさを経験し、自ら他者に関わりにいけるようにアプローチしている。またサーキット遊びの順番や、園庭での遊具の貸し借り、鬼ごっこやゲーム等を通して、社会性やルールを経験できるようにしている。園外活動については、交通ルールや公共の場所での過ごし方等も経験できるように活動している。								
家族支援		保護者の集まりや、勉強会、OBのお話会等を実施。また個別での懇談を年2回あり、希望があれば随時追加の懇談をすることも多々ある。利用児の話だけではなく、きょうだいや親族、ご家族の相談にも応じています。				移行支援		幼稚園、保育園、またはこども園との連携及び訪問・会議等の参加。地域の小学校や特別支援学校、教育委員会との連携及び訪問・会議等に参加。相談支援事業所との連携。		
地域支援・地域連携		管轄保健センター、医療機関(かかりつけ医、発達外来、小児育成支援室)、相談支援事業所等と発達状況などの情報共有や連携。災害時などの協力要請。				職員の質の向上		外部研修、内部研修。ケース会議、職員会議等。虐待防止・身体拘束についての研修。災害時や不審者対応の実践研修。		
主な行事等		親子遠足(年2回)、避難訓練、健診ごっこ、お誕生日会、夏祭り、クリスマス会、運動会、絵本の読み聞かせ(月1回) etc…								